



おおだし
島根県大田市

ビジネス部門



農林漁業

6次産業化

女性の活躍

ゆうげんがいしやあさひようけいしや
No. 3 有限会社旭養鶏舎

～目指せ！えごま玉子で地域に活力を！～



「えごま玉子」



直売所 多数のアイテムが並ぶ店舗内

経緯

- 大田市の人口減少に伴い、卵の消費量も減少し、付加価値の高い卵の生産の必要性を感じた。
- 島根県が産地化を進めるエゴマは健康に良い α -リノレン酸を多く含んでいるため、飼料として直接与えた鶏が産んだ「えごま玉子」の生産を思いついた。
- 耕作放棄地を活用したエゴマ栽培を考える。

取組内容

- えごま玉子の生産と、えごま玉子を原料とした加工品(25アイテム)を自社工場で製造。
- 大学や病院と連携し、えごま玉子を食べることの効果について検証し、健康に良い効果が示された。
- ITとオートメーション化、6次産業化を積極的に進め、社員の半数近くは女性が働き、女性役員・管理職の登用も積極的に行う。
- 当社退職者や周辺の高齢者に声掛けし、エゴマを栽培。

活動の効果

- 加工品全てのフレッシュさと無添加をコンセプトに掲げており、鶏舎横の直売所には、毎日多くの消費者が来店する。
- 男性職員のみであった営業配送業務に女性職員を配属したところ、消費者に対する気配りにより、新規顧客獲得に繋がった。
- エゴマを生産する近隣農家とともに生産組合を立ち上げ、エゴマ生産による収入をもたらしている。